

2025年度 東海大学大学院 第3回 家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では、
家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は、**カルガリー家族アセスメント/介入モデル**を用いて分析し、
事例に適したアプローチ方法を検討します。

テーマ「医療的ケア児を亡くしたご家族への支援」

NICU入院から在宅療養への移行を経て退院した児が急変し永眠。
後日、母親が医療者との面談を希望された。深い悲しみにあるご家族
に対し、医療者はどのように寄り添い、語りの場を支えられるのか。

プロフィール：新井陽子先生

北里大学看護学部を卒業後北里大学病院に助産師として勤務。
北里大学大学院博士課程を修了。2022年より群馬大学大学院
保健学研究科看護学講座教授で現職。各地でカルガリー家族
アセスメントモデルを用いた家族看護教育と実践の普及に努めている。



【日時】2025年11月29日(土)

【時間】13:00～16:00

【方法】対面開催

【会場】東海大学伊勢原キャンパス3号館

※参加ご希望の方は当日会場へお越しください。事前申し込みは不要です。

問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（小泉）

ホームページ：<https://kazokuns-tokai.jp>

メールアドレス：ori-koi-ri-yu-mi-ku@tokai.ac.jp

電話：0463-90-2062（直通）

